

秋の里山活動体験（10月22日）の活動報告

10/22（日）に鹿背山で「秋の里山活動体験」を行いました。参加者は子ども7人、保護者1人、サポーター3人、事務局3人、南谷管理組合の大門さんの計15人でした。

今回、秋の里山活動では久しぶりの野外調理を行いました。防災食体験で、耐熱性のポリ袋に米を入れて湯煎で作る「コーンバターご飯」と「キノコとサバの味噌煮缶のホイル焼き」に挑戦。水量をきちんと計ったり、目分量で材料を等分に分けたり、手早く作業を済ませたあと、調理が出来上がるまでの間には、斜面の落ち葉かき作業をしたり、薪割り体験をさせてもらったりしました。

ご飯はとてもおいしく、ホイル焼きは強火で少し炭になったのもあったけど、十分おいしかったです。午後からも火を囲んでマシュマロやリンゴを焼いて食べたり、かくれんぼしたり、秋の森を満喫していました。

最後に、春に植えた綿の収穫。荒れ土の上、夏の猛暑であまり背が伸びなかったけれど、大きな実を紙袋いっぱい収穫できました。まだまだこれから実るものもあるので楽しみです。

